

僕は

子どもの頃、

サーカスの

女の子に

憧れて

たんですよね



石本正記念  
展示室

2020.1.2[木]～3.15[日]  
2019年度 石本正作品選 4

企画  
展示室

2020.1.2[木]～3.15[日]  
石本正 心の眼3 ～私を感動させた日本画～

【料金】一般600(500)円、高校・大学生300(240)円、小・中学生200(160)円  
※( )内は20名以上の団体料金 ※「しまね家庭の日」毎月第3日曜日に家族で来館された高校生以下の観覧無料  
【開館時間】9:00～17:00(入館は16:30まで) 【休館日】月曜日(祝日の場合は開館、翌平日休館)  
【主催】浜田市立石正美術館 浜田市 浜田市教育委員会 公益財団法人浜田市教育文化振興事業団  
浜田市立石正美術館 | 〒699-3225 島根県浜田市三隅町古市場589 Tel.0855-32-4388 Fax.0855-32-4389

浜田市立 石正美術館

<http://www.sokisho-art-museum.jp/>

石本正記念  
展示室2020.1.2[木]～3.15[日]  
2019年度 石本正作品選4

日本画家・石本正(1920-2015)は、島根県那賀郡岡見村(現在の浜田市三隅町)に生まれました。自然豊かな土地でのびのびと育ち、20歳の時に画家を志して京都に移り住んで以降、戦後の現代日本画壇をけん引する作家の一人として最前線を走り続けていました。その彼が80歳を目前にしたころ「幼少期に感性を育ててくれたふるさとのおかげで、今も自分は絵を描き続けている」と思うようになり、ふるさとへの感謝の気持ちを込めて作品の寄贈を申し出ました。この事をきっかけに2001(平成13)年に石正美術館ができ、現在当館のコレクションは石本正作品だけで約14,000点の膨大な数となっています。これらの収蔵品を年4回の展示替えて紹介しながら、石本正の画業の全容をいつでもご覧いただけるのが「石本正作品選」です。

地位や名声を拒み、95歳でこの世を去るまで、何ものにも捉われることなく独自の美を求める姿勢を貫いた石本正の足跡を、代表作の数々と共にご覧ください。



「聴」2001(平成13)年



「野薔」2009(平成21)年

企画  
展示室2020.1.2[木]～3.15[日]  
石本正 心の眼3 ～私を感動させた日本画～

2001(平成13)年に、自らの作品を収蔵・展示する石正美術館ができたことをきっかけに、石本正は“文化”は流行ではなく心や気持ちが一番大事だということを、ふるさとである島根県浜田市から発信して欲しいと願っていました。そして、はっきりと感動を覚えた150点余りの他作家の作品を自らの心の眼で選び、それらは2010年に増設された新館に収蔵されました。以降石正美術館は、石本正の作品だけではなく、画家にゆかりの深い現代日本画家の作品も併せて鑑賞することができるようになりました。石本は、このことについて次のような言葉を残しています。

「絵を見るときは、名前や肩書きで見ないで欲しい。先入観を持たず、作品に素直な心で向き合ってもらいたい」石本正本展では、「絵は心である」という、石本が生涯の画業において大切に続けた信念のもとに蒐集した、心ある素晴らしい作品の数々をご紹介します。



岡崎國夫「とらのこ」1985(昭和60)年



上野富二郎「梅林春寒」2005(平成17)年

## 《同時期開催の主なギャラリー展》

## 干支展2020—子(ね)—

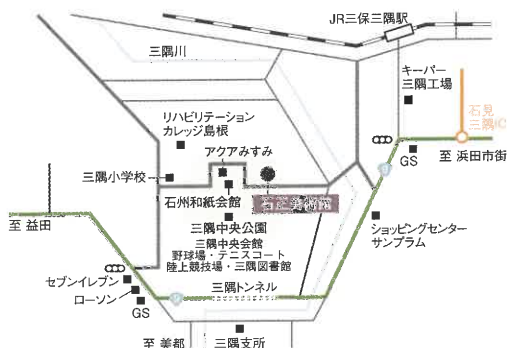
新年の幕開けに、石正美術館ギャラリーをおめでたい干支の作品でにぎやかに彩ります。絵画、写真、立体作品など、個性豊かで魅力的な《子》の作品をお楽しみください。

■ 会期：2020年1月2日[木]～17日[金] ※入場無料

## 三隅中学校美術展

石正美術館のおとなり・三隅中学校のみなさんが、1年の創作の成果を発表します。元気いっぱいの作品の数々をご覧ください。

■ 会期：2020年2月1日[土]～14日[金] ※入場無料



## 【美術館へのアクセス】

- 最寄駅 三保三隅駅から車で5分
- JR山陰本線 浜田駅から三保三隅駅まで列車で20分
- 広島駅から浜田駅まで高速バスで2時間
- 山陰道 石見三隅ICから車で3分
- 萩・石見空港から車で40分

\* 学芸員によるギャラリートークを随時行っております。